

令和3年(2021)

3/15

No.1922

毎月1・15日発行



広報 おあがき

市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います
新しい習慣で感染症予防! ~手洗い・マスク・人との距離~



感染再拡大を徹底阻止!

新型コロナウイルスへの警戒継続を

新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、岐阜県も3月1日に緊急事態宣言が解除されたが、感染の再拡大を防止するため、引き続き警戒が必要です。

春は入学や就職などで人の移動が多くなり、厳重注意の季節です。

手洗い・マスク着用・人との距離確保を励行し、換気を良くして3密（密閉・密集・密接）を避けるなど、基本的な感染防止対策を徹底するとともに、「感染リスクの高い春の行事」などの回避をお願いします。

次の感染防止対策の重点的な取り組みをお願いします

- ① 感染リスクの高い春の行事（歓送迎会、花見の宴会、飲食を伴う謝恩会）などの徹底回避
- ② 卒業旅行などのうち、大人数での会食の回避が徹底されないものは当面、自粛力延期
- ③ 「県をまたぐ移動」「外出」「飲食」に関する慎重な判断

換気を良しくして、3密を避ける!
手洗い・マスク・人との距離を忘れずに!

第1回市議会定例会開会

新年度予算など48議案を審議

第1回市議会定例会が3月1日、開会されました。

この日、会期を3月16日までの16日間と決めた後、「大垣市功労章を授与することについて」と人事案件2件を先議。7人に市功労章を贈ることを決め（詳細は本紙2面に掲載）、大垣地域公平委員会委員に矢橋修太郎氏（再任）を選任、人権擁護委員候補者に鈴木一朗氏（再任）、水谷あい子氏（再任）を推薦することにそれぞれ同意しました。

続いて、令和3年度一般会計予算など45議案が一括上程され、小川市長が予算編成の基本方針や各議案の提案理由を説明しました。

また、8日には12人の議員から市政全般について的一般質問が行われました。

各議案は、最終日の16日に行われる本会議で採決される予定です。

荒崎幼保園が完成



令和元年9月から改築整備を進めていた荒崎幼保園が完成し、3月6日に完成式典と内覧会が開かれました。

新園舎は、鉄骨造2階建て、延べ床面積約1,677m²。窓が多く、明るく開放的で、園庭もリニューアルし、子どもたちがのびのびと過ごせる環境です。

式典では、小川市長や田中市議会議長らがテープカットを行い、5歳児がお礼のことばを伝えました。



大垣市長・ 大垣市議会議員補欠選挙

投票日 4月18日

期日前投票などについて詳しくは、
本紙3面をご覧ください。



市役所第1来庁者駐車場

3月29日(月)から
利用できます

詳細は本紙4面に掲載



3月15日号 主な内容

- ▶ 市功労章受章者の紹介、国民健康保険の異動の届け出など … 2~3P
- ▶ 5月2日(日)に成人式を開催、令和2年度の財政公表など … 4~5P
- ▶ 上・下水道利用の開始と中止の連絡はお早めに、募集のお知らせなど … 6~7P
- ▶ 催し・講座のお知らせ … 8~9P
- ▶ 健康ガイド … 10~11P
- ▶ 東京2020オリンピック聖火リレートーチ巡回展示など … 12P

厳しい状況になりそうですが、出生・死亡に伴う人口は増えていますが、出生・死亡に伴う人口が減っているため、平成19年をピークに人口が減少傾向で、高齢化率は急速に伸びています。「子育て日本一」を掲げ、少子化対策に取り組んできましたが、コロナ禍でさらに深刻な状況になります。本市では、転入・転出に伴う人口は増えていますが、出生・死亡に伴う人口が減っているため、平成19年をピークに人口が減少傾向で、高齢化率は急速に伸びています。「子育て日本一」を掲げ、少子化対策に取り組んできましたが、コロナ禍でさらに深刻な状況になります。これまでは、スピードで進み、新たな社会へと向かっています。これから先を見通すとともに、さらに難しくなり、その変化の速さに対応できる力がますます必要になってくると思います。大垣の将来を担う子どもたちに「予測困難な時代生き抜く力」を身に付けてもらいたいと願っています。

市長職5期20年での退任を2月10日に表明いたしました。毎日多様な仕事や行事があり、あつという間の20年でした。そして今思ふのは、時代の変化を予測することの難しさです。20年前は地方分権の流れ一色でした。権限や財源を地方に移譲し、国の補助金を減らして、中央集権から地方分権型社会への移行を行なうものでした。市町村合併も推進され、自治体の財政悪化など多くの課題がある中、地方の権限や責任の拡大が進められましたが、依然として大都市集中が続いている。

こうした社会の変化は時間をかけて徐々に移行していくものでしたが、昨年現れた新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活や働き方などの激しい変化を余儀なくしています。コロナ禍は「予測困難」な状態の一つで、今までの当たり前が当たり前ではなくなり、オンライン社会やリモートワークなど、いずれ起こる変化が急加速しました。

しかししながら、少子高齢化は予測通り変化していくものでした。昨年現れた新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活や働き方などの激しい変化を余儀なくしています。コロナ禍は「予測困難」な状態の一つで、今までの当たり前が当たり前ではなくなり、オンライン社会やリモートワークなど、いずれ起こる変化が急加速しました。



時代変化の予測
大垣市長 小川 敏